

栄光のバトンパス

プログラムの9番に、「栄光のバトンパス」がありました。5・6年生で行うこの競技は、1人1人が運動場を一周して順番を競い合います。僕が写真を撮っているときに一番感じたことは、みんなの一生懸命な顔です。最初の人の、苦しそうな顔、アンカーの人の楽しそうな顔などがカメラに映りました。白と紅の応援が、運動場に響き渡りました。特に多かったのは「フレー！フレー！」という声援でした。最初にいっせいに走り出したときの苦しい顔が印象に残りました。



左の写真はバトンを受け継ぐ瞬間の映像です。きっと受け継いだ人は、「頑張るぞ！」という意気込みで走り始めているのだと思います。受け継がれた人は「頑張るね！」という気持ちで終わったのだと思います。

大会前、「気を繋ぐ」を目標にし、勝利に一步でも近づけるように、一生懸命練習を頑張っている姿が僕の目に映っていました。そして当日、みんなが1位を目指して一生懸命走っているのが観客の皆様方にも見えていたと思います。

リレーで一番大切なのはスタートです。これまでに何度も「スタートダッシュが一番大事だよ！」と教わってきました。だから、みんなにとって一番緊張したのは「よーいどん！」と言われた瞬間だと思います。二番目に大切なことは、バトンパスです。バトンパスを失敗すると他のチームに追いつかれたり、ぬかされたりします。それは、とてももったいないと思います。練習のとき、バトンパスを特に一生懸命練習していたと思います。体育大会本番のときには、観客のほとんどの人が盛り上がっていました。本当に「大接戦」だったからです。終わったときは、選手のほとんどが「はあ、はあ、はあ、」と肩で全身で息をしていました。今回の体育大会が盛り上がった、成功した理由の一つは、この栄光のバトンパスの成功があったからだだと思います。一生懸命走っている5から6年生の姿を見て、観客の中には、涙を流して感動されていた方もいらっしゃいました。来年の体育大会も頑張れ！！



